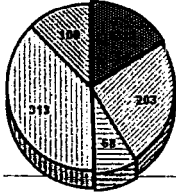


### また産みたいですか

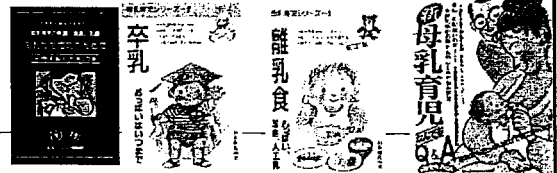
- 何人でも欲しい 16.2%    ■ もう産みたくない理由 (n=313)
- 一人ではかわいそう 24.9%
- 楽しいのでまた産みたい 8.3%
- まだ考えられない 38.4%
- 無回答 12.3%



理由	数	%
上の子がいるの	182	58.1
出産がづらい	15	4.8
授乳がづらい	38	12.1
育児が大変	1	0.3
家族の協力がな	6	1.9
仕事を優先	93	29.7
経済的負担	38	12.1
その他	0	0

### 出版活動 (すべて自費出版)

- 母乳育児成功のための10カ条
- 母乳育児成功のための10カ条エビデンス
  - 母乳育児シンポジウム記録集1-15巻
  - 「離乳食」「卒乳」
- 今後の予定「母乳と虫歯を考える」「日本における10カ条の実践のために」



### 「母乳育児を成功させるための10カ条」





## 社団法人母子保健推進会議及び 母子保健推進員活動について

- \* 社団法人 母子保健推進会議について
- \* 母子保健推進員の組織と活動
- \* 母子保健推進員等の活動の意義、課題、対策

社団法人母子保健推進会議  
広報・研修室長 越溝和子

## 1. 社団法人母子保健推進会議 設立の経緯及び構成

・1965年(昭和40年)に制定された「母子保健法」の法制化に尽力した「母性保健基本法促進連合」が母体となり発足。その折に尽力した学術職能団体が、現在本会議を構成する法人会員。

日本産婦人科医会・日本小児保健協会・日本歯科医師会・日本看護協会・日本助産師会・国民健康保険連合会・日本家族計画協会等16団体

役員名簿			団体会員名簿
役職	氏名	所属	
会長	佐野 信彦	社団法人 日本小児保健協会 名誉会員	社団法人 日本産婦人科医会
副会長	橋下 邦彦	国立国際医療センター 名誉院長	社団法人 日本小児保健協会
副会長	黒川 昌	社団法人 日本産婦人科医会 理事	社団法人 日本歯科医師会
副会長	近藤 亨男	社団法人 日本産科婦人科医会 副会長	社団法人 日本看護協会
副会長	浅 藤 真	社団法人 家族計画推進協会 理事長	社団法人 日本助産師会
理事	大塚多美子	NPO法人全国自治体児童福祉協議会 常任理事	社会福祉法人 岩手県民センター 母子育児部
理事	佐村 嘉彦	山口女学短期大学 理事長	社団法人 母子歯科研究会
理事	高野 真	社団法人 日本家族計画協会 理事	社団法人 国民健康保健伝達協会
理事	田中 一樹	社団法人 国民健康保健伝達協会 理事	社団法人 日本家族計画協会
理事	宗本 善次	社団法人 日本産科婦人科医会 産科部長	社団法人 全国保健センター連合会
理事	市原 芳雄	社団法人 母子歯科研究会 理事・理事長	社団法人 全国母子保健推進員連絡協議会
理事	長岡功太郎	社団法人 国民健康保健伝達協会 産科部長	
理事	山内 邦明	社団法人 全国母子保健推進員連絡協議会 常任理事	
理事	久重 節子	社団法人 日本産科婦人科医会 産科部長	
理事	渡部 隆子	社団法人 日本産科婦人科医会 産科部長	
理事	清水 誠	社団法人 全国保健センター連合会 事務局長	
理事	佐藤 敦子	全国母子保健推進員連絡協議会 会長	
理事	原田 昭二	社団法人 日本家族計画協会 産科部長	
理事	小林 謙	社団法人 日本小児保健協会 理事	
理事	伊藤久美子	社団法人 日本看護協会 常任理事	
理事	江内二三子	社団法人 日本助産師会 事務局長	
理事	小糸好寿雄	社団法人 日本産科婦人科医会 産科部長	

## 2. 母子保健推進会議の主な活動

- 1) 健やか親子21全国大会・母推活動報告会・意見交換会の開催
- 2) 母子保健推進員等住民ボランティア、保健師等専門職、歯科保健関係者に対する研修会の開催(年20余回)
- 3) 一般住民を対象とした行事(育児のつどい・住民会議)の開催
- 4) 母子保健強調月間の実施(妊娠中の禁煙の啓発/10・11月)
- 5) 歯科保健: 歯ブラシセットの配布・研修会の開催・教材の開発
- 6) 母子保健・子育て支援に関する教材の開発・頒布
- 7) 広報活動: 機関紙の発行、講演、他機関への寄稿、提言など
- 8) 母子保健推進員組織の育成・支援(組織育成費の助成等)
- 9) 国際協力: 海外からの視察団の受け入れ・視察交流
- 10) 全国母子保健推進員等連絡協議会の事務局

## 2. 母子保健推進会議の主な活動

### 4) 禁煙の啓発

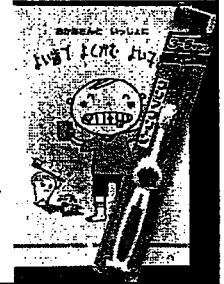
10月・11月の「母子保健強調月間」に併せ妊婦、乳幼児を持つ親への禁煙啓発用ポスター、クリアファイル、リーフレットを制作し、都道府県・保健所・保健センター・病院産婦人科等へ配布



## 2. 母子保健推進会議の主な活動

### 5) 母子歯科保健の推進

- ・1歳6か月・3歳児健診時配布用歯ブラシセットの配布(毎年350,000set)
- ・教材(パネル・冊子等)の制作
- ・研修会の開催: 歯科特別研修2回・歯科保健を含む研修会15回の開催



## 母子保健推進員の組織と活動



### 1. 母子保健推進員設置の経緯

母子保健推進員の活動は、第2次世界大戦後まもなくの栄養、衛生状態の悪い時期に長野県で保健師の活動に協力すべく地域の婦人会などを中心に自主的に始まり(保健指導員)、母子保健を中心に活動する市町村も含め広がった。

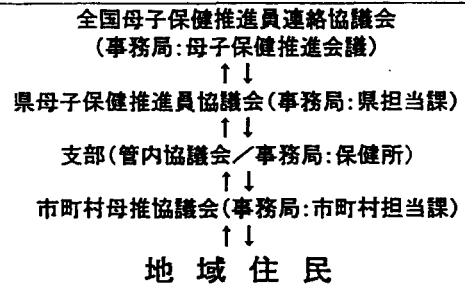
母子保健法制定後の1968年、厚生省(当時)の事務次官通知として「母子保健推進員を設置することが望ましい」との通知、その後徐々に身分、財政的補助、主な活動などが明記され、全国に広がった。

母子保健推進員は市町村長が依頼状を交付、任期は概ね2年(再任は妨げない)。

### 2. 母子保健推進員ならびに 母子保健推進員協議会の数

- 母子保健推進員: 約110,000人
- 現在、全国の市町村の2/3の市町村で母子保健推進員が活動
- そのうち協議会が設置されている市町村は約1/3(市町村合併により変動? 平成20年度に全国調査を予定)

### 3. 組織の構成



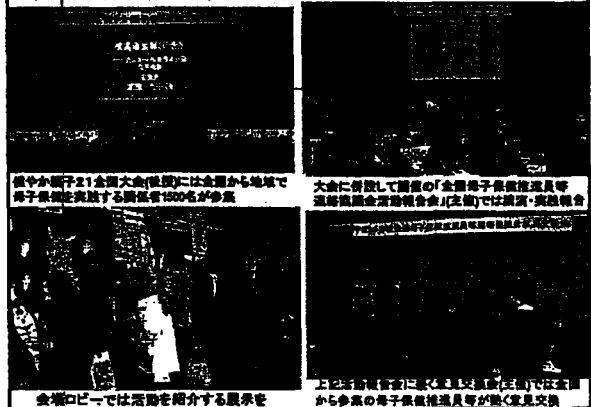
### 4. 主な活動

- \* 全国母子保健推進員等連絡協議会の活動  
全国大会活動報告会の開催、機関紙の発行等
- \* 県協議会及び県協議会支部(保健所単位)の活動  
1) 総会・研修会・交流会の開催。  
2) 県単位母子保健に関する調査(母乳育児、子どもの事故・むし歯予防、父親の育児等)など
- \* 市町村における活動  
1) 市町村母子保健事業への協力  
家庭訪問、健診・各種学童への協力  
市町村主催行事への参加 など  
2) 自主的な活動  
劇や紙芝居、手づくり教材等による啓発活動



市町村長より依頼状を授受

### 全国母子保健推進員等連絡協議会の活動



福中かの子21全国大会(福岡)には全国から地域で母子保健に関与する関係者1200名が参加


大会に併設して開催の「全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会」(主催)では講演・実践報告

会場ロビーでは活動を紹介する展示を

上記活動報告会に続く交流活動(主催)では全国から参加の母子保健推進員等が懇話会交流

## 県協議会の活動


- 総会・表彰行事
- 研修会等の開催



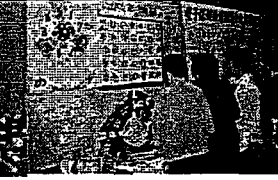
山口県母子保健推進協議会総会開催大会

上: 研修会に先立ち、県協議会の総会を執り行う。来賓には知事、主管部長ほか県保健所長も全員出席(佐賀県)


左: 研修会に先立つ総会で功労者表彰  
山口県母子保健推進協議会




総会時県協議会の「歌」を壇上の来賓とともに斉唱



研修会会場ロビーでは日頃の活動を展示



日頃の活動を笑顔により発表



全国の市町村協議会ごとに交流も盛んに

## 母推、保健師、保育士、子育て中の親等関係者が一堂に会する住民会議の開催

関係者が一堂に会するため、実践報告だけでなく、悩みや想いなどもぶつけられる

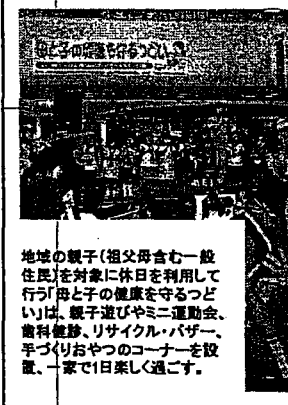


住民会議の会場はいつも立ち見が出るほどの盛況(和歌山県)

育児を考えるつどい

## 一般住民を対象にしたイベント「母と子の健康を守るつどい」

地域の親子(祖父母含む一般住民)を対象に休日を利用して行う「母と子の健康を守るつどい」は、親子遊びやミニ運動会、歯科健診、リサイクル・バザー、手づくりおやつコーナーを設置、一家で1日楽しく過ごす。



## 地域の伝統文化の伝承

「母と子の健康を守るつどい」等のイベントには地域の伝統文化(宝飾・食等)の伝承もプログラムに入れて



地域に伝わる伝統的なお菓子に



餅つきは地域のお年寄りに手伝ってもらって

## 国際協力・関係団体との協力

ジョイセフ(家族計画国際協力財団)、JICA等に協力し、海外からの視察団の受け入れ、他国の地域保健ボランティアの視察・交流

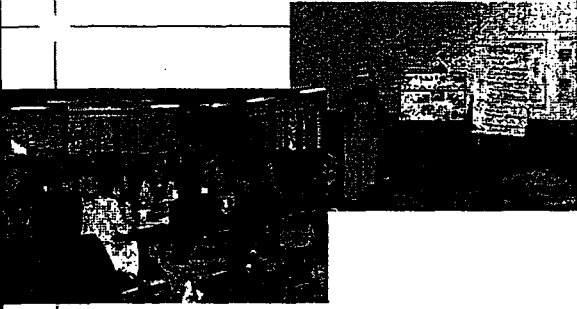


ジョイセフ(家族計画国際協力財団)、JICA等に協力し、海外からの視察団の受け入れ、他国の地域保健ボランティアの視察・交流

上: アジア、ラテンアメリカ、アフリカ等から参加の母子保健指導者と地域母子保健先進県である山口県の保健師、母子保健推進員が交じり合いグループワーク

右: 視察研修員と意見交換する佐賀県母子保健推進協議会の役員

### 管内協議会(支部)の活動



沖縄県中央保健所管内研修会には職員を含む管内全市町村から参集

### 市町村における主な活動

1)市町村母子保健事業への協力

- ①家庭訪問(ごんには赤ちゃん事業等妊婦・乳幼児のいる家庭を訪問し、母子保健事業の紹介、健診・予防接種未受診者への勧奨等)
- ②健診、各種学級への協力:受付、計測、託児、親子の様子を見る等
- ③研修会・定例会への参加

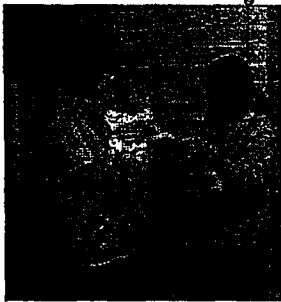
2)自主的な活動

- ①子育てサークルの設置・運営
- ②手づくり教材・手づくりプレゼントの制作
- ③健診・学級時、または保育園等を回って母子保健・子育て支援に関する保健教育劇、紙芝居、エプロンシアター、指人形劇等の上演
- ④小・中・高校の総合学習の時間等に出前授業
- ⑤市町村他課、小児病院等関係機関へのボランティア活動

### 1)市町村母子保健事業への協力

#### ①家庭訪問

母子保健推進員は、担当地区の家庭を訪問し、健診、予防接種の受診勧奨、各種学級等の案内をしながら親子の様子を観察し、母親の話を聴くなどして、子どもの健康とともに母親の孤立化、育児不安の軽減に努める。





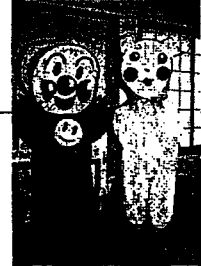
### ②健診・各種教室等への協力




上左:乳幼児健診時の計測、記録は母子保健推進員の大事な役割(沖縄県本部国町)

下左:母親教室時の沐浴を指導する母推さん

上右:ベビー教室でグループの中に入り、緊張する母親から話を引き出し、育児不安の軽減、仲間づくりに一役(愛知県豊田市)

#### 歯科健診時の母推さんの協力

- ・受付、会場の準備、片付け
- ・母親が各種教室に専念できるよう託児
- ・フッ素塗布時、兄弟の面割をみる
- ・緊張する子どもの近くを人気アニメキャラクターの着ぐるみを着て周りに子どもたちの緊張を解く

### 2)自主的な活動(テーマ別に紹介)

母子保健推進員等が、家庭訪問等市の母子保健事業への協力とは別に、市担当課や専門職の協力、支援のもと、自主的に行っている活動。

テーマ:むし歯予防、食育、子どもの事故予防、母乳育児の推進、思春期保健(命の尊さ、母性・父性の育成)など。



内容:育児サークルの育成・運営、手づくり教材・おもちゃの制作、劇、紙芝居、エプロンシアター、訪問によるアンケート調査等

2)自主的な活動  
①育児サークルの育成・運営




育児サークルの企画・運営は母子保健推進員に任されている市町村も多い。季節に合わせた行事(七夕・クリスマス会、ミニ運動会等)などを行い親子から好評。



2)自主的な活動  
②手づくり教材・おもちゃ(健診待ち時間時用)


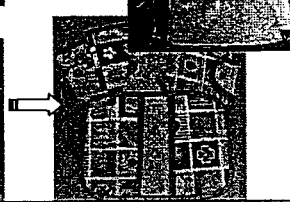
上: 健診待ち時間に子どもたちが遊ぶ手づくりおもちゃは、ペットボトルや缶など日用品をリサイクル(佐賀県唐津市)

右: 簡単な算数、食育(栄養)、絵の結び方、ファスナーやボタンの留め方などを安全に楽しみながら学べる知育おもちゃも手づくり(右: 沖縄県那覇市・右下山口県山口市)

2)自主的な活動  
②家庭訪問時持参手づくりプレゼント

+


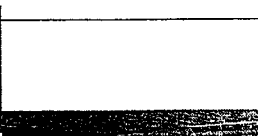



チラシ等に加え、母子保健推進員手づくりのプレゼントを持参し手渡し

2)自主的な活動  
③食育:寸劇・手づくり教材






2)自主的な活動  
④むし歯予防(寸劇・紙芝居・エプロンシアター等)






それぞれの歯の役割、むし歯の成り立ち、歯みがきの大切さなどを楽しく、学ばせながら幼児に届け、関を回りながら上演。

(上: 富山県黒部市、右: 岡山尾町)

手づくり紙芝居(挿・ストーリーとも) 大型の飛び出す絵本

エプロンシアター(マジックテープで様々な) 手づくりの表彰状、メダルは子どもたちの励みに



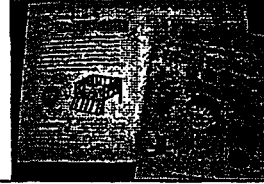
2)自主的な活動

⑤子どもの事故予防(訪問による装着確認・アンケート調査・劇・教材の作成等)

子どもの事故は防げる! 家庭を訪問する母子保健推進員はチャイルドシートの装着状態、家庭内の注意点を現場でアドバイスすることができるため、効果が期待できる。



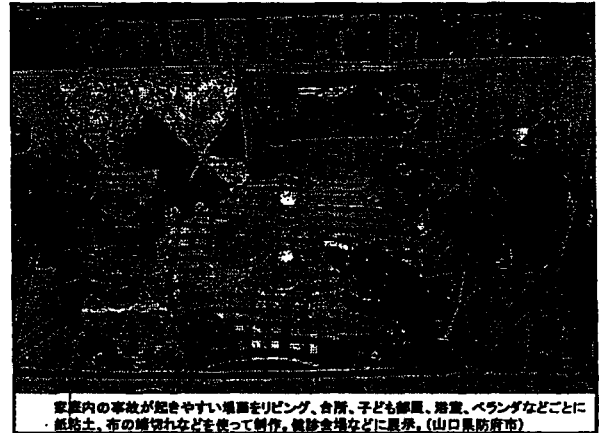
上: 各家庭を訪問する折にチャイルドシートが正しく装着されているか確認



左: 訪問時を利用して行ったアンケート調査の結果、体験談を聞き取り、冊子に



家庭内で起きる子どもに多い事故のモデル(山口県母子保健推進協議会研修会の折の宇部市母推協の展示)



家庭内の事故が起きやすい場面をリビング、食卓、子ども部屋、浴室、ベランダなどごとに紙粘土、布の端切れなどを使って制作。福祉会場などに展示。(山口県防府市)

2)自主的な活動

⑥禁煙教育:寸劇・ポスターの制作等



保育園での禁煙教育

保育園児への禁煙教育は保護者へも有効

2)自主的な活動

⑦思春期保健:教材の制作・劇・出前教室等



月齢ごとに精巧に作られた胎児人形



希望の身体を身につけた「胎児人形」



胎児人形(上)を使って思春期教室

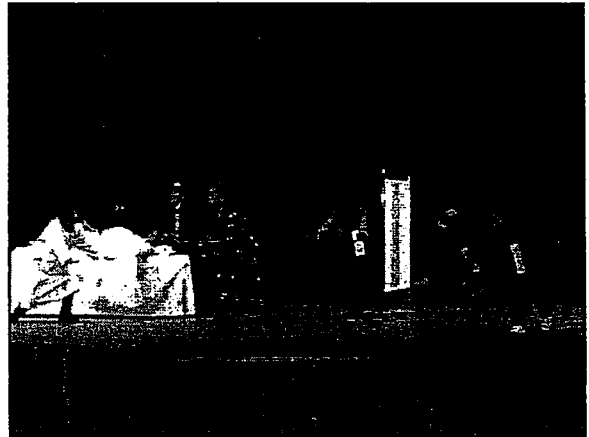


土肥を小中高校での思春期体験学習、市町村が実施する両親学級、健康まつりなどで活用





小・中学、高校で実施される総合学習、思春期ふれあい体験学習等へ協力、講師役を務めることもある。(写真：左沖純典与那国町、下2点：岡北谷町)



- 妊婦体験は意外に重いのでびっくり！こんなに重いのに、家事をしたり買い物に行ったり、すごいなあと思いました。8キロにまでなる重さを抱えるお母さんとそのサポートをするお父さんのチームワークが大切なんだと思いました。わたしのお母さんもこんなことをしてたのかな。お母さん、ありがとお！
- 自分の意思を相手に伝えることは大切で、ちゃんと saying good things that you did. あと、お互いの性が違うことを考えて、相手のことも大事にあげなくてはと思った。
- 性というのはとても大事なものの、自分たちの「未来」とか、生きることに必要なことなんだ。性は、未来へのかけはしだと思った。

### 母親たちから母推さんへ(豊田市)

- かゆいところに手が届く！！というのがまさに母推さん。いろいろ話を聞いてくれたり教えてくれるのはもちろん、健診のとき、わたしが不安気な顔をしていると「大丈夫よ」と声をかけてくれたり、子どもがぐずり始めるとずっと来て子どもをあやしてくれたり、いつもさりげなく助けてくれて感謝です。もっともっと母推さんの存在をアピールしては・・・
- 結婚して豊田にきました。実家は遠く、初めての子育てで不安だったのですが、やさしく声をかけてくれたり気遣ってくれたり、すごくありがたかったです。次に子どもができて、また豊田で子育てしたいです。これからも力になってください。

### 母子保健推進員等住民ボランティアの活動は・・・

- 住民にもっと近く、住民の目線で見ることができるため、その地域(固有)の問題の発見が可能であり的確である。
- 指導型ではないため、互いに話しやすく聴きやすい。
- 地域住民であるため、継続したケアが可能(長く務める人が多い)。一慮待の連鎖を断ち切る等のためにも有効。
- 近隣に住むため、小さな変化にも気づき対応が迅速かつ柔軟。ポジティブな小さな変化への声かけ(→行動変容をサポート)、気になる点が生じた場合は速やかに保健師等へ報告し、関係の専門職へ支援へとつなぐ。

### 課題は？

- ①個人情報保護法の施行により、住民の意識の変化、市町村の対応により、家庭訪問に困難が生じてきている市町村も
- ②市町村合併による影響：旧市町村で活動、組織の概要、自治体担当者に温度差
- ③母子保健推進員は研修を積んだ一般住民のため、専門職の学術的な基づけ、サポートが必要。また行政職でもないため、身分・役割についての配慮も必要

↓

- ①については、自治体各課と連携、勉強して正しい対応を→過剰反応によりマイナスの影響が生じてきている
- ②について、なぜ母推活動のような住民活動が必要であるか、将来を見据えて話し合い、走りながら柔軟にすり合わせを
- ③母推と保健師は常に密接な情報交換を。また母推の身分、役割等、対象者、住民への繰り返しの広報、周知が必要

**母子保健推進員等の組織化**  
 \*なぜ組織化が必要?

悩みや課題を共有でき情報やアイデアをもらえる、仲間ができる→活動が楽しくなる→地域特性を生かした自主的な活動が増える→意識と資質が向上、それにより

↓


**住民へのよりきめ細かな対応が可能に!**  
**個から組織へ、組織から個へ**

そのために行政・専門職・民間団体がすべきことは

- ①日頃から密接な連携をとり情報・想いを共有する
- ②人づくり(研修等)、場づくり(母子保健推進員等が活動しやすい環境づくり)、ものづくり(教材等)などが必要

**母子保健推進員組織の育成**

\*組織づくりのための基盤づくり  
 \*組織育成費の助成



上:県協議会設立へ向け、沖縄県部長らを表彰。

左:沖縄県協議会設立基金で預金長に組織育成費を支す本会副理事長理事


**活動をより活性化するために...**

母子保健推進員等住民ボランティアの活動は、保健師等行政職担当の数が十分とはいえないこと、住民の目線を持ち、日常的、継続的なケアが可能なことなどから、今後ますます住民から、行政から、より幅広い積極的な活動が期待されると考えられる。

それに応えるためには

↓

- ①各レベルの母子保健推進員協議会の設置、育成
- ②母子保健推進員の恒常的な資質と意識の向上  
 →全国大会・研修会の開催、機関紙の刊行
- ③顕彰事業(「健やか親子21全国大会」における本会議会長表彰など)を図る必要がある。



子どもも親も、母推自身も楽しみながら・・・

\*個から組織へ、組織から個へ  
 \*住民参加から住民が主役へ